

福岡市葬祭場「刻の森」整備事業

落札者の決定に係る審査の結果

令和8年1月30日

福岡市

目 次

I 落札者の決定方法	1
1 審査の流れ	1
2 事業者検討委員会	2
II 審査の経過及び結果	3
1 入札参加資格審査	3
2 提案審査	3
3 落札者の決定	5
別紙 審査講評	6
1 評価結果	6
2 性能評価講評	7

福岡市（以下「市」という。）は、「福岡市葬祭場「刻の森」整備事業」（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を募集及び選定するにあたり、事業費の額に加え、事業者の設計、施工、工事監督等の業務遂行能力や、事業計画の妥当性等を総合的に評価する総合評価一般競争入札方式（地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2）により行い、落札者の決定を行ったので、審査の結果をここに公表する。

令和 8 年 1 月 30 日

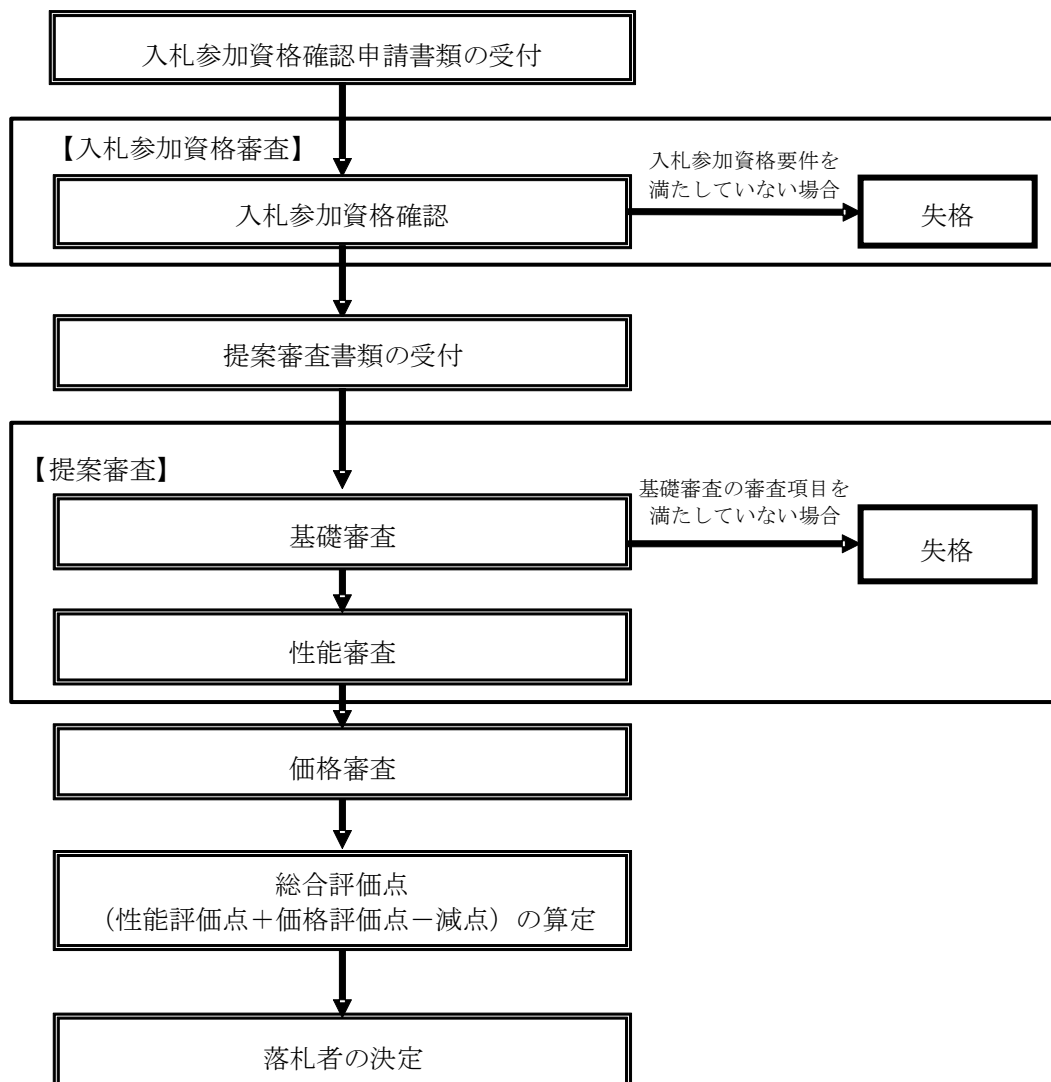
福岡市長 高島 宗一郎

I 落札者の決定方法

1 審査の流れ

審査は、本事業への参加を希望する者が入札説明書に示した入札参加資格を具備しているか確認する「入札参加資格審査」と、同審査を通過した入札参加者の提案内容等を評価する「提案審査」の二段階に分けて実施した。

【審査の流れ】



2 事業者検討委員会

(1) 事業者検討委員会の構成

提案審査のうち性能審査については、審査の公平性及び透明性を確保するとともに、客観的な評価等を行うため、学識経験者等で構成する「福岡市葬祭場「刻の森」整備事業事業者検討委員会」（令和6年10月1日設置。以下「事業者検討委員会」という。）において行った。

事業者検討委員会の構成は、以下に示すとおりである。

【事業者検討委員会委員】

区分	氏名	専門・所属
委員長	柳橋 泰生	福岡大学大学院 工学研究科資源循環・環境工学専攻 教授
副委員長	鳥居 修一	久留米工業大学 機械システム工学科 特別教授 (大学院工学研究科エネルギーシステム工学専攻兼務)
委員	為田 一雄	福岡大学大学院 工学研究科資源循環・環境工学専攻 地域環境専修 准教授
委員	鶴崎 直樹	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授
委員	椿本 聡	福岡市保健医療局 生活衛生部長

(敬称略)

(2) 事業者検討委員会の開催経過

市は、事業者検討委員会を以下のとおり開催した。

【各事業者検討委員会における開催日及び主な議題】

回数	開催日	主な議題
第1回	令和6年11月1日	実施方針（案）、要求水準書（案）
第2回	令和7年1月30日	落札者決定基準（案）、評価実務
第3回	令和7年11月17日	基礎審査、ヒアリング準備
第4回	令和7年11月27日	性能審査（書面審査、ヒアリング）

II 審査の経過及び結果

1 入札参加資格審査

令和7年6月13日の入札参加資格確認申請書等の受付締切日までに、2グループから入札参加表明書及び入札参加資格確認申請書等の提出があった。市による入札参加資格確認の結果、いずれのグループも入札参加資格を有していることを確認したため、令和7年7月14日付で、各グループに対し入札参加資格確認結果の通知を行った。

【入札参加グループ一覧】

太陽築炉工業株式会社を 代表企業とする グループ	代表企業	太陽築炉工業株式会社
	構成員	株式会社志賀設計 株式会社内藤工務店 藤栄電気工事株式会社 株式会社西日本空調システム
富士建設工業株式会社を 代表企業とする グループ	代表企業	富士建設工業株式会社
	構成員	株式会社俊設計 照栄建設株式会社 株式会社西中洲樋口建設 株式会社イチデン 昭和鉄工株式会社

2 提案審査

令和7年10月15日の入札書及び事業提案書の受付締切までに、入札参加資格を有する2グループから入札書及び提案審査書類が提出された。市及び事業者検討委員会は、落札者決定基準に基づき提案審査を行った。

(1) 基礎審査

市は、基礎審査として提案内容が入札説明書に記載する要件を満たしていること及び要求水準を満たしていることの確認を行い、事業者検討委員会は市が行った基礎審査の結果を確認した。

(2) 性能審査

事業者検討委員会は、入札参加者の構成企業名を伏せ「7グループ」及び「11グループ」とし、提案審査書類の内容について性能審査を行った。性能審査では、各委員が提案審査書類の内容について、評価項目（小項目）ごとに5段階の基準によって評価を行い、配点に評価に応じた加点割合を乗じた点数を付与した。

【評価基準及び加点割合】

評価	評価基準	加点割合
A	要求水準を上回る具体的かつ非常に優れた提案である	小配点×1.00
B	要求水準を上回る具体的かつ優れた提案である	小配点×0.75
C	要求水準同等の具体的な提案である	小配点×0.50
D	要求水準同等だが、具体的な提案が少なく、軽微な改善が必要	小配点×0.25
E	具体的な提案がない	小配点×0.00

各委員が付与した点数を平均することにより各評価項目（小項目）に付与する点数とし、小数点第二位以下は四捨五入した。

そして、各評価項目（小項目）に付与した点数を合計し、性能評価点とした。なお、詳細は「別紙 審査講評」による。

（３）価格審査

市は、以下の算定式により算出された値を価格評価点とした。

$$\text{価格評価点} = \frac{\text{提案のうち最も低い入札価格}}{\text{当該入札参加者の提示する入札価格}} \times 300 \text{ 点}$$

価格審査の結果は以下のとおりである。

【入札価格及び価格評価点】

項目	7 グループ	11 グループ
入札価格（消費税及び地方消費税相当額を含まない）	4,488,000,000 円	4,483,400,000 円
価格評価点	299.7 点	300.0 点

（４）総合評価

市は、入札参加者の性能評価点及び価格評価点の合計点数から、減点分を差し引いた点数を「総合評価点」として算出した。なお、入札参加者においては、「落札者決定基準」（令和 7 年 4 月 10 日付公表、令和 7 年 10 月 3 日最終修正）の「Ⅳ・4 減点」の内容には該当しなかったため、総合評価点の算出に際して減点はなかった。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{総合評価点} & = & \text{【性能評価点】} & + & \text{【価格評価点】} & - & \text{【減点】} \\ \text{(満点 1,000 点)} & & \text{(満点 700 点)} & & \text{(満点 300 点)} & & \text{(※)} \end{array}$$

【総合評価点とその内訳】

項目	7 グループ	11 グループ
性能評価点	537.0 点	473.1 点
価格評価点	299.7 点	300.0 点
減点	0.0 点	0.0 点
総合評価点	836.7 点	773.1 点

3 落札者の決定

審査の結果を踏まえ、市は、太陽築炉工業株式会社を代表企業とするグループを落札者として決定した。

別紙 審査講評

福岡市葬祭場「刻の森」整備事業 審査講評

1 評価結果

【評価結果の詳細】

項目 区分	No	評価項目		配点	点数	
		大項目	小項目		7 グループ	11 グループ
事業実施に係る評価項目	1	事業計画 (90 点)	事業の取組方針	10	6.5	7.0
			事業実施体制、連絡・調整体制	30	22.5	21.0
			事業工程計画	50	40.0	32.5
	2	リスクへの適切な対応 (60 点)	リスクの想定及びその対応策	60	42.0	42.0
	3	稼働改修における配慮 (110 点)	施設利用者への配慮	80	60.0	52.0
			運営・維持管理事業者との連携	30	19.5	19.5
	4	地域社会、地域経済への貢献 (90 点)	地域社会への配慮	10	8.0	7.0
			地域経済への貢献	80	76.0	60.0
	合計			350	274.5	241.0
施設整備に係る評価項目	1	火葬炉計画 (210 点)	火葬炉の性能	130	108.3	86.7
			異常発生時のバックアップ	20	11.7	11.7
			維持管理性	60	40.0	40.0
	2	建築・設備計画 (80 点)	建築・設備の性能	60	48.8	37.5
			維持管理性	20	12.5	15.0
	3	環境への配慮 (60 点)	環境負荷低減対策	30	20.6	20.6
			省エネ化	30	20.6	20.6
	合計			350	262.5	232.1
性能評価点				700	537.0	473.1

2 性能評価講評

以下に、性能審査を行った、7 グループおよび 11 グループの提案に関する評価の要点を講評する。

◆性能審査講評

(1) 事業計画

7 グループは、運営継続と効率的な施工を両立させる「段階的工程計画」を具体的に明示した点が評価された。11 グループは、代表企業を中心とした指揮命令系統の明確化、および情報の一元管理体制が提示され、統率の取れた管理手法が評価された。

(2) リスクへの適切な対応

7 グループは、リスクマネジメント委員会の設置をはじめ、リスクの抽出から対策、実施に至るプロセスが具体化された点が評価された。11 グループは、予期せぬリスクに対し代表企業が中心となり、リスクマネジメントを行うという明確な意思表示をすることで、責任所在の透明性という観点において評価された。

(3) 稼働改修における配慮

7 グループは「サイレントタイム」を設定し、厳粛性を確保する提案が評価された。11 グループは「工事中断ルール」を設け、儀式を最優先する提案が評価された。

(4) 地域社会・地域経済への貢献

7 グループは、構成企業の全てを福岡の地元企業とする体制を提示し、これにより、地域経済への直接的な貢献のみならず、災害時等の有事における迅速かつ柔軟な対応力が担保されている点が高く評価された。11 グループは、地域連携協定等を通じ、広域的な視点から地元との結束を図る提案していた点が評価された。

(5) 火葬炉計画

7 グループは、常時運転 3 件/日・基の実績による安定感のある機器や部材となっていて、炉の容量など要求水準を上回る優れた提案であると評価された。11 グループは、常時運転 3 件/日・基に対応するため、機器や耐火材など維持管理性が評価された。

(6) 建築・設備計画

7 グループは、電動運搬台車のルートを複数確保するなど、日々の運営に配慮した計画となっている点が高く評価された。11 グループは、メンテナンス実績等の確かなエビデンスに基づいた詳細な設備計画を提示し、維持管理の確実性が評価された。

(7) 環境への配慮

7 グループは、将来を見据えたクリーンエネルギーの活用についても配慮し、環境性能においても十分な水準にあると評価された。11 グループは、高効率機器や省エネルギー性能に優れた設備の導入で、ライフサイクルコスト、メンテナンス性の低減に配慮した計画が評価された。

◆性能審査総評

両グループともに、故人を送る場としての尊厳を何よりも大切にしようとする姿勢は、本事業の理念を具現化する提案であると、検討委員会において評価された。7 グループは、「オール福岡」という強固な実施体制による安心感と、今後増加が見込まれる火葬に対して、将来性や信頼性を考慮した火葬炉計画であるとの意見があり、建築計画では建設中から竣工後まで施設運営に配慮した計画となっていることが評価された。11 グループは、責任体制を明確にした実施体制や、施設の現状を良く理解した優れた提案であるとの意見があり、特に、建築・設備計画では機能性や高効率化など、実務能力の高さが随所にうかがえる優れた内容となっていることが評価された。